

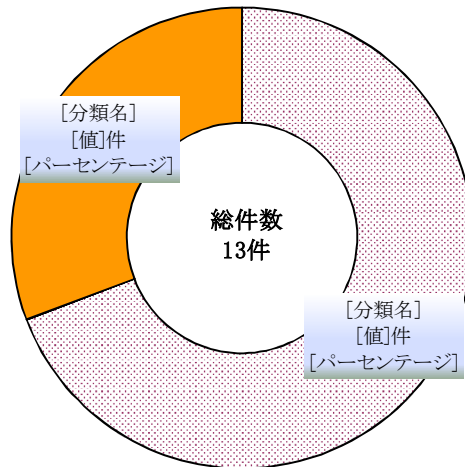
c. 踏切道種類別の事故件数、踏切道100ヶ所当たりの事故件数

踏切道数については26箇所の減少となっており、事故件数については全体で7件減少している。
 一方、踏切道100ヶ所当たりの事故件数を踏切道種別で比較すると、第4種踏切道での発生率が高くなっている。
 今後においても、さらなる踏切事故防止のためには立体交差化、第1種化等の踏切安全対策の充実の他、自動車運転者等への道路交通法の遵守・マナーアップ等の対策が必要である。

表-3 踏切道種類別事故件数、踏切道 100ヶ所当たりの事故件数の推移

踏切道種別	踏切道数		事故件数		踏切道 100ヶ所 当たりの事故件数	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
第1種	2,545	2,523	17	9	0.67	0.36
第3種	82	81	1		1.22	0.00
第4種	237	234	2	4	0.84	1.71
合計	2,864	2,838	20	13	0.70	0.46

図-8 踏切道種類別事故件数(平成30年度)



ウ. 人身障害事故

発生件数については、15件となっており前年度(19件)より4件減少している。また、死傷者数は15名は前年度(19名)と4名減少し、死亡者数も減少している。

ウ. 人身障害事故
 図-9 人身事故の原因別件数及び死傷者数の推移

